

神戸市会だより

ホームページアドレス <http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/>

2018年
平成30年

5月

No.
197

発行：神戸市会事務局
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
☎(078)322-5853 FAX(078)322-6170
■神戸市会だよりは年4回発行します。
(次回は8月号)

広報紙KOBÉより抜き出してお読みください。
神戸市広報印刷物登録 平成30年度第38号-1
(広報印刷物規格 A-1類)

神戸の新たな未来を切り拓くための平成30年度予算を可決

2月20日、平成30年第1回定例会を開会しました。今回の会期は6月26日までの127日間です。前半の2月議会では平成30年度予算および関連議案を中心に審議しました。(市長提出99件、議員提出4件、合計103件)

2月20日の本会議において、久元市長などから平成30年度予算および関連議案について説明を受けました。2月26・27日には、各会派の代表者が質疑を実施。その後、予算特別委員会を設置し、局別にさまざまな観点から審査を行いました(主な内容は2~4面をご覧ください)。その結果、3月28日の本会議ですべての議案を可決しました。



可決した主な議案



◆平成30年度当初予算

平成30年度予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の総額1兆7,565億円で、いずれも原案どおり可決されました。

若者に選ばれるまち、誰もが活躍するまちを目指した「神戸2020ビジョン」に掲げる施策をはじめとして、幅広い施策を総合的に展開し神戸の新たな未来を切り拓くための予算となっています。

関連議案

●神戸市遺留金取扱条例

身寄りのない死亡者の遺留金の適正な取り扱いを進めます。

●神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例

理念などを定め、認知症の人にやさしいまちづくりを推進します。

◆平成29年度補正予算

国の補正予算を活用した防災・減災などの緊急対策をはじめ、公園や学校、観光施設の環境整備など、市民生活とおもてなし環境の向上を加速します。

●主な内容

- ・ヒアリなどの特定外来生物の定着防止対策(1億9,200万円)

- ・寄付金を活用した神戸文化ホールの設備更新など(1億1,500万円)
- ・文化施設をはじめとしたトイレ環境の整備(25億5,000万円)

●神戸市住宅宿泊事業の実施の制限等に関する条例

住宅宿泊事業法に基づき平成30年6月から開始される住宅宿泊事業について、事業の実施を制限する区域および期間を定めます。また、事業者の責務を定め、生活環境の悪化の防止と事業の適正な運営を確保します。

◆人事案件

岡口憲義副市長(再任)および寺崎秀俊副市長(新任)の選任に同意しました。

また、人権擁護委員候補者32名の推薦について支障なしと答申することを決定したほか、神戸市教育長の任命や神戸市監査委員1名の選任など6件に同意しました。

◆意見書を提出

次の意見書を国に提出しました。

- 白タク行為の容認を旨とした規制改革の自粛を求める意見書
- 地方議会議員を優遇する地方議会議員年金制度の復活に断固反対する意見書

平成30年度予算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	公	共	こ	維	民	新	無 平野(博)	無 浦上	無 松本(し)	結果
一般会計	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	可決
市営住宅/新都市整備/自動車/高速鉄道	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	可決
国民健康保険/市街地再開発/介護保険/後期高齢者医療/港湾	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	可決
市場/下水道/水道	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
食肉センター/農業共済/母子父子寡婦福祉資金貸付/駐車場/農業集落排水/公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

自 自由民主党 公 公明党 共 日本共産党 こ 民進こうべ 維 日本維新の会 民 民進党 新 新社会党 無 無所属

*会派名は、平成30年3月28日現在

平成30年 第1回定例会市会〔2月議会〕の動き

本会議	2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ●開会 ●議席の一部変更および指定 ●会期決定 ●30年度当初予算などの議案の提案 ●29年度補正予算などの議案の提案・質疑
	常任委員会	2月21日・22日
本会議	2月26日・27日	<ul style="list-style-type: none"> ●29年度補正予算などの議案の採決 ●30年度予算および関連議案に対する会派代表の質疑 2・3面でご紹介 ●予算特別委員会設置
	予算特別委員会	2月28日~3月16日
本会議	3月20日	<ul style="list-style-type: none"> ●人事案件の提案・討論・採決 ●29年度補正予算などの議案の追加提案・質疑 ●議員提出議案の提案・採決
	常任委員会	3月22日・23日
本会議	3月28日・29日	<ul style="list-style-type: none"> ●29年度補正予算などの議案の討論・採決 ●30年度予算および関連議案の討論・採決 ●請願の討論・採決 ●議員提出議案の提案・採決 ●一般質問 4面でご紹介
	後半の6月議会は平成30年6月11日(月)から26日(火)までの予定です。	

会派名の変更

4月1日付けで「民進こうべ政策議員団」が会派名を「こうべ市民連合議員団」に変更しました。

新議員のご紹介

2月4日に行われた市会議員(長田区)補欠選挙の結果、かわべ氏が当選されました(任期は平成31年6月10日まで)。所属常任委員会は企業建設委員会です。



かわべ 宣宏
(長田区・自由民主党)

本会議での各党派代表による質疑から

2月26日・27日の本会議では、平成30年度予算とそれに関連する議案について、市長・副市長などの考えをいただきました。その主な内容をご紹介します。



神戸市会 中継 検索

質問した議員

- 自由民主党…北山順一・安井俊彦
- 公明党…菅野吉記・高瀬勝也
- 共日本共産党…西ただす・今井まこと
- 市民進…川内清尚・人見誠
- 維新…黒田武志・住本かずのり
- 新社会党…あわはら富夫
- 無所属…平野章三・浦上忠文

※ 会派名は、平成30年2月27日現在

まちづくり・産業

空き家・空き地対策

自北山議員

Q 空き家・空き地が目立ち、住民の高齢化が進み空洞化が加速している長田区丸山地区のような空き家・空き地問題の対応には、行政がランドバンクシステムを取り入れて、所有権の問題にまで踏み込み、強力に進めていく必要があるのではないかと。

A 丸山地区に限らず、空き家・空き地対策は地域にとって重要な課題であるが、行政が所有権の問題に踏み込むことは難しい。新たに実施する住環境改善支援制度による住環境の改善や、国の動きを視野に入れた取り組みで、課題解決を図りたい。丸山地区については、区役所の取り組みに合わせ、検討をしっかり進めていく。

六甲アイランドのまちづくりの総括・検証

自安井議員

Q 誕生から今年で30年となる六甲アイランドには、人口が当初計画の3万人に届いていないことや、商業施設の撤退など、課題が山積みである。六甲ライナーのルートとの適切な企業・商業施設の撤退によるレッドタウン化など、これまでのまちづくりを検証する必要があるのではないかと。



色鮮やかなチューリップが六甲アイランドを彩る

A 現状を改善し、将来的なまちの姿を描いていくためには、住民や進出企業だけでなく、専門家、民間、デベロッパーも一緒になって議論

神戸の観光施策の推進

維黒田議員

Q 客船誘致の強化で、クルーズ船の神戸港への寄港は増加しているが、乗客の観光先は京都や大阪で、市内への経済波及効果が十分にでない。市内にある多種多様な観光資源を活用し、市内全域にインバウンドによる経済波及効果を高め、市民サービスの向上に繋げるべきではないかと。

A 神戸への誘客が難しくなった中国発着クルーズの欧米人を含む乗船客に対し、体験型観光をはじめとした提案を客船誘致の段階から船社・旅行会社に提案していきたい。また、酒蔵や夜景、観光農園など郊外にある観光資源となる資産をさらに発信し、インバウンド市場を取り込んでいきたい。

三宮クロススクエア

無平野(専)議員

Q 三宮クロススクエアを作るメリットはあるのか。また、事業計画の根拠となる、交通問題の将来動向や費用対効果などの、市場調査は行われているのか。

A メリットは、歩行者空間を作ることで、ニューオーフのタイムズスクエアや世界の主要都市において、3〜4割も通行量が増えたようなことである。三宮クロススクエアの費用対効果を定量的に算出することは難しいため、調査しお示しする手法は見つかっておらず、引き続き議論したい。

今後のインシシ対策

無浦上議員

Q 神戸市では、全国初となるインシシ条例を制定し、インシシ対策を行っているが、依然として被害が後を絶たない。GPSを活用して侵入経路などの行動形態を調査し、効果的な対策につなげるなど、対策を強化すべきではないかと。

A 捕獲を増やし人身事故の件数は減少しているが、インシシによる被害は大変深刻である。現在、専門家と相談し効果的な調査・対策の方法を検討している。当面は餌付けの禁止の徹底と捕獲に全力を尽くしたい。

こども

待機児童の解消

公高瀬議員

Q 保育所の確保に当たっては、都市公園や公有財産を活用した施設整備の促進が必要と考えるが、今後どのような対策を進めていくのか。

A 保育所用地確保の際の事業者に対する資金面での援助や、幼稚園の認定こども園への移行に当たり必要な施設改修費の支援、保育士などの人材確保対策など、積極的な支援を行っている。加えて、都市公園や幼稚園などの公共施設の活用、保育ニーズの偏在是正を図るための保育送迎ステーションの設置、鉄道駅付近におけるパーク



さまざまな手法を用い早期の待機児童解消をめざす

アンドライド方式による保育所整備などの検討を進め、2020年4月の待機児童の解消を目指したい。

不登校対策

民諫山議員

Q フリースクールなど学校外で

の多様で適切な学習活動の重要性を指摘する教育機会確保法の趣旨を踏まえ、今後不登校対策をどのように進めるのか。また、フリースクールなどの連絡調整のため、協議の場を設置すべきではないかと。

A 学校の柔軟な対応、適応指導教室での学習支援、フリースクールの個別の出席認定などに引き続き取り組む。また、小学生向け学習支援ツールの個別配信の検討やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの増員などで、一人一人を大切にされた対応を進めたい。フリースクールなどの連携や協議の場のあり方は検討していきたい。

健康・福祉

認知症の人にやさしいまちづくり条例の市民への啓発

自安井議員

Q 条例の最も重要な柱である、条例を市民が共有するための市民への啓発を、どのように進めていくのか。また、事故救済制度の財源は、市民税の上乗せを検討することだが、市民の理解を得られるような名称とするべきと考えるがどうか。

A あんしんすこやかセンターでの相談受付や啓発の充実、中学校区単位での声かけ訓練の実施など、住民の理解を深める取り組みをさらに進める。小・中学校での学習の取り組みについては、教育委員会と調整したい。税の名称については、制度を実現する財源にふさわしい名称が必要と考えており、公募も含めて検討したい。

認知症の早期発見と予防への対策

公菅野議員

Q 認知症初期相談支援チームの全区設置が完了するが、先行設置区における相談件数は少ない。認知症施策においては、早期発見と予防の取り組みが重要なため、尼崎市のような特定健診受診者を対象にした認知機能検査などの認知症予防事業を、神戸市でも実施すべきではないかと。

A 認知症の早期発見・予防につながる対応を推進するため、できるだけ多くの市民に受けていただけるような、新たな認知症診断制度の導入を考えている。また、診断後の支援体制も重要なため、相談窓口の充実や介護予防のためのサービスにつなぐ仕組みを、引き続き検討していきたい。

国民健康保険・介護保険などの社会保障政策

共西議員

Q 市長は、平成30年度予算編成に

行財政

区役所での各種届出に要する時間の短縮

自むら議員

Q 出生関連手続きに要した時間は、私の経験では約1時間半であった。今後、若者に選ばれ気持よく子育てがスタートできる神戸となるため、出生届など各種手続きに要する時間を短縮するべきではないかと。

A 出生・婚姻などの届出受付について、まずは北区の総合窓口での対応を開始し、その検証結果を踏まえて、全市での展開を考えていく。区役所窓口での手続きの迅速化については、平成30年度に新設する区役所課でしっかりと検討し、速やかに改善していきたい。

県費負担教職員の権限移譲による効果と課題

公川内議員

Q 権限移譲により、柔軟な教職員配置が可能になると、神戸市独自の取り組みができるようになった。一方で、育児や介護を理由に退職した教師の再採用制度は、市では導入されていないと聞いています。教員不足の実情から見ても、神戸市でも導入すべきではないかと。

A 教職員定数の運用に関しては、学校課題に応じた弾力的な教職員配置が可能となり、小学校への教頭を補佐する教員の配置や、特別支援学級などへの大幅な加配教員の配置などを行った。子育てや介護による離職者を再び活用する制度については、本市の教育の充実の有用であり、積極的に検討していきたい。

広報戦略の展開

公人見議員

Q 施策を着実に成果に結び付けていくには、市民への周知が重要であり、プッシュ型などの効果的な手法による情報発信が必要である。広報と広報の一体的運用を行うとのことだが、広報のあり方をどのように分析し、広報戦略を展開するのか。

A 企業会計手法を適用する港湾事業会計に統合することで、空港の財政状態を予算・決算で示すことができる。また、港湾事業との区分経理により空港事業の収支状況が明確になる。民間による空港運営開始後もホームページで情報公開するため、事業のより一層の透明性が図られる。

地域医療の崩壊から住民の暮らしと命を守る

共今井議員

Q 垂水区の民間病院の小児科閉鎖が住民の中で大きな問題になっている。神戸市はポートアイランドに病院の集積を進めているが、医療機関の一種集中は地域医療の崩壊に拍車をかけることになる。市民の安心のため、非常に厳しい状況にある地域の病院を支援し、地域医療を守るべきではないかと。

A 医療産産都市に高度専門病院が集積することで、地域医療水準の向上や高度化をもたらしており、市全体で小児救急や産科医療体制を確保している。医師不足は全国的な課題だが、地域医療の状況を把握し、医療機関の意見を聞きつつ、本市にできる支援を引き続き検討したい。

神戸空港

新あわはら議員

Q 空港整備事業特別会計を廃止し港湾事業会計に統合すると、空港関連の財務が不透明になる可能性がある。神戸空港への市民や議会のチェック機能が継続的に担保できるように、特別会計の廃止ではなく、これまで以上に情報公開に努め、事業の見える化を図るべきではないかと。

A 企業会計手法を適用する港湾事業会計に統合することで、空港の財政状態を予算・決算で示すことができる。また、港湾事業との区分経理により空港事業の収支状況が明確になる。民間による空港運営開始後もホームページで情報公開するため、事業のより一層の透明性が図られる。

予算特別委員会の審査から

予算特別委員会(議員67名で構成、委員長 守屋隆司議員)は2月27日に設置され、平成30年度予算および関連議案の審査を付託されました。委員会は、3つの分科会を設け、2月28日から局ごとに審査を行った後、3月14日に総括質疑を、3月28日の本会議では委員長から市長に対して、要望を行いました。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます)

総括質疑した議員

- 自** 自由民主党…平野昌司
 - 公** 公明党…壬生潤
 - 共** 日本共産党…松本のり子
 - こ** 民進ことうべ…岩田嘉晃
 - 維** 日本維新の会…山本のりかず
 - 民** 民進党…新原秀人
 - 新** 新社会党…小林るみ子
 - 無** 無所属…平野章三、浦上忠文
- ※会派名は、平成30年3月14日現在

子ども

子どもの貧困の実態と対策

公 壬生議員

Q 平成30年度予算では、子育て世帯の経済的負担軽減のための施策などを拡充しているが、市内の実態分析や目標設定、これまでの政策効果が不明である。子どもの貧困対策を主要課題として明確に位置付け、現状分析を行った上で、関係各局での施策の調整を図り、効果的に施策を展開すべきではないか。

A 過去の経緯については、誤解が生じないように引き続き新運営会社に説明を行っていく。神戸空港が関西全体の発展に寄与することを周辺関係自治体などに理解されるための取り組みや、各エリアインへの働きかけなどを続け、引き続き神戸空港の機能強化、将来の発展のために取り組んでいきたい。

都市型創造産業の集積

こ 岩田議員

Q 子どもの貧困対策については、各局で連携し多様な取り組みを行ってきた。平成30年度には、平成25年度に引き続き神戸市ひとり親家庭等実態調査を実施したいと考えており、この調査結果を踏まえ、これまでの取り組みの効果を検証し、必要な施策の充実に努めたい。

A 都市型創造産業は、多様な業種が結びつき、集積が生む傾向にあり、市の上までさまざまな施策においても、集積の視点が重要である。平成30年度は民間から登用する統括プロデューサーを核に支援ネットワークを構築し、市の各施策に関係する企業や人材を次々に巻き込んでいきたい。

産業

神戸空港の規制緩和

自 平野(昌)議員

Q 3空港一体運営による神戸空港の規制緩和への機運が高まっているが、新運営会社が、規制には過去から

まちづくり

三宮再整備基本構想

共 松本(の)議員

Q 市役所2号館、3号館に区役所、勤労会館、生田・豊合文化センター、大倉山にある文化ホールを集積するための行政機能が入りきらず、億単位の賃料を支払って民間オフィスを借りることになった。文化ホールの大ホールと中ホールはバラバラに配置される。性急な三宮への集約が大きな矛盾を生んでいるのではないか。

A 三宮再整備は、区役所エリアも含めて三宮の賑わいをつくるものである。まちの活性化に向けてさまざまな機能の配置を考え、各年度に必要な予算措置のもと、計画的に、しっかりとした議論を行ってきており、今後も同様に進めていきたい。

マーケティングによる人口減少対策

維 山本(の)議員

Q 千葉県流山市は、共働き子育て世帯をターゲットに設定し、動向調査を行い、駅前送迎ステーションの導入などの施策を展開するとともに、アフターフォローをしっかりと行い、大幅な人口増につなげている。神戸市でも、調査に基づくターゲットを絞った人口減少対策が必要ではないか。

A 本市でも大学生や子育て世代をターゲットにした支援のほか、若年層の転出入者などを対象にアンケート調査も行っているが、改善の余地はある。流山市の取り組みなども参考に、子育て世代を対象とした調査を充実させ、それをもとにした人口減少対策に取り組みしていきたい。

要望事項

地域特性を生かしたまちづくりについて

都心・三宮の再整備については、公共交通ネットワークの強化を図り、ウォーターフロントへの回遊性など広域的な視点をもって、市民意見を聞きつつ進められたい。

神戸経済の活性化について

神戸観光局と連携し、客船誘致や国際港湾会議の誘致に努めるとともに、コンテナターミナルの環境整備などにより、神戸港の港勢拡大を図ること。また、運営権設定により4月から始まる3空港一体運営を機に神戸空港の規制緩和を関係先に強く求められたい。

子育てしやすい環境と教育施策の充実について

子育てしながら働く女性を応援するため、仕事と子育ての両立支援拠点を利用者のニーズをふまえて整備するとともに、遊びの地域拠点整備など、子どもの体力や運動能力の向上に努められたい。

市政改革について

長時間労働の抑制や庁内業務のICT化により働き方改革を実現し、市役所の生産性を向上させること。また、市役所本庁舎の再整備についても、賑わい創出や回遊性向上とともに、行政機能のあり方についても検討されたい。

一般質問

個々の議員が個人の立場や観点を質問しました
※会派名は、平成30年3月29日現在

かわべ宣宏議員(自由民主党)

- ① 漁業振興
- ② 温水プールの整備
- ③ スマホ依存
- ④ 花の観光

山口由美議員(自由民主党)

- ① 神戸の特徴をいかした人口減少対策
- ② 福祉施策
- ③ 教育施策

藤本浩二議員(公明党)

- ① 企業主導型保育事業
- ② インフルエンザ、風疹の予防接種
- ③ 骨髄移植の小児ワクチン再接種の助成
- ④ 高齢年団地・マンションの管理支援
- ⑤ AI活用による働き方改革
- ⑥ 幼児・児童の自転車ヘルメット着用

山本じゅんじ議員(日本共産党)

- ① 神戸製鋼石炭火力発電所の増設
- ② 神戸市都市空間向上計画(立地適正化計画)

大井としる議員(民進ことうべ)

- ① 放課後子ども総合プランの充実・推進
- ② 須磨多間線の推進
- ③ 名谷エリアの活性化
- ④ 外国人研修生の介護現場への受入れ
- ⑤ ビンの単独収集

三木しんじろう議員(日本維新の会)

- ① 自家発電設備の点検・報告
- ② ルミナリエ
- ③ 垂水区いじめ問題
- ④ 地方議員年金

前島浩一議員(民進党)

- ① 西区文化・芸術ホール、西図書館の整備
- ② 三宮再整備の関連

JR三ノ宮駅建て替え計画との

- ・JR三ノ宮駅建て替え計画とのかわり
- ・2号館建て替え関連の「花時計」の移設